

令和6年第5回(12月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
1(14番) 八尋 一男	1 帯状疱疹の予防ワクチンについて	(1) 国の定期接種化の動向を注視と、近隣自治体の状況を見ながら検討してまいるとの答弁、その後の動きは。 (2) 厚労省は、公費で補助する定期接種化を検討しているが、独自予算化も含め本市の方向性を伺う。
	2 不登校等対策について	(1) 全国の小中学校の不登校は34.6万人と最多を更新、35人学級で1人が対象となるが本市はどうか。 (2) 重大事態は、前年比4割増で初期対応に問題があり、学校の組織対応が課題と言われているが、本市はどうか。 (3) 国は将来的には学びの多様化学校を全国に300校設置することが目標であるが、本市の見解は。 (4) フリースクールは費用負担が大きいと言われている、大野城市は利用料補助をしているが、本市はどうか。
2(1番) 佐々木 忠孝	1 総合体育館について	(1) 小学生から成人までの県レベルの大会が開催できる規模の総合体育館を整備してはどうか。 (2) 総合体育館には、大規模災害発生時の避難所の機能を具備するのが望ましいと考えるが、市の見解は。
	3(7番) 坂口 勝彦	1 廃食油の再資源化について (1) 本市では、SAFをどのように認識しているか。 (2) 本市での循環型社会における具体的な取り組みはどのようなものがあるのか。 (3) 市民参加での廃食油リサイクル事業を検討してはどうか。
4(2番) 古賀 新悟	2 広報紙の配布について	(1) 高齢化が進む中、今後の広報紙の配布について、どのように考えているか。 (2) 広報紙の配布を地域の実情に応じて、業者委託を検討できないか。
	1 オスプレイ飛行について	(1) オスプレイによる事故頻発しているが、その危険性について本市はどのような認識かを尋ねる。 (2) 11月14日、米海軍オスプレイが福岡空港から筑紫野市上空を通過したが、事前連絡はあったのか尋ねる。
5(3番) 春口 茜	2 エアコン設置工事に伴うアスベストの事前調査・工事費用の助成について	(1) 2023年10月からエアコン工事でもアスベスト調査が義務化されたが、費用の助成をすべきではないか。
	1 フードロス削減の取り組みについて	(1) 筑紫野市におけるフードロスの現状を把握しているのか、また課題について市の認識を伺う (2) フードドライブの結果を踏まえた子ども食堂等の地域活動とフードバンクの連携について具体的なビジョンは (3) フードロスの取り組みについての新たな対策は
	2 JT跡地について	(1) マンション建設抑止に重きをおいたJT跡地利活用を求める署名活動について市の見解は (2) 跡地に関して市へ寄せられる問い合わせ件数や関心を寄せている業種は (3) マンションが建設された場合、市としてどのような影響を想定し、どのような施策や対応を検討しているのか (4) マンション建設による税収増加について試算があればお示し頂きたい (5) マンション建設で児童増加時、小中学校の校区再編や新校建設費・用地確保等をどう検討しているか (6) マンション建設された場合、インフラ整備（道路、水道）の費用や対応について想定していることは (7) 少子高齢化で公共施設の維持管理コストが課題だが跡地を活用した公共施設の複合化を図っては
	3 まちづくり戦略について	(1) 独自性を持つまちづくりを進めるためどのようなビジョンをお持ちか (2) まちづくりに特化した協議会または部署を創設し組織体制を強化すべきでは

令和6年第5回(12月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
6(11番) 白石 卓也	1 本市の人口対策を実施すべき	(1) 人口減少社会の中、本市独自の人口増加施策を実施すべきと考えるが本市の見解は。
	2 本市の道路環境を改善すべき	(1) 現在、市道の改善について市民からの要望はどの程度の件数が来ているか
		(2) (1)について過去3年の実績はどうか
		(3) 市道の狭隘、歩道の改善を促進すべきと考えるが見解は
7(12番) 前田 倫宏	1 少子高齢化対策について	(1) 自然・社会動態の人口推計をどのように分析しているのか。また、将来的な人口減少の課題及び対策の考えは。
		(2) 出生率の低下に対して、どのように分析しているのか。また、出生数を増やすための取り組みへの考えは。
		(3) 少子化対策として、不妊検査や治療の費用を助成する支援策が有効だと考えるが、見解は。
	2 都市計画税について	(1) これまでの税収と都市計画事業及び土地区画整理事業等の事業費の収支は、具体的にどうなっているのか。
(2) 本市の都市計画税は、県内で一番高い税率である。これまで、定期的に税率の見直しなど検討してきたのか。		
8(6番) 檜木 孝一	1 戸籍への振り仮名記載について	(1) 住民への周知をどのように行うのか。認知症高齢者、知的障がい者の方等へ丁寧な配慮が必要ではないか。
		(2) 問合せ対応のコールセンターを設置すべきではないか。
		(3) 十分な職員体制が必要と思われる。処理体制は整っているのか。
		(4) 事務処理費負担の協議は整っているのか。法定受託事務の場合、国の予算で行われるべきでないか。
9(9番) 吉村 陽一	1 介護人材確保について	(1) 介護就職フェアに出展する事業所へ出展を促す為、係る経費の補助を行ってはどうか。
		(2) 市内高齢者介護事業所で長年働く職員に「継続勤務応援金」を支給してはどうか。
		(3) 外国人材の受け入れのため「外国人材宿舍借り上げ支援補助金」を検討しては。
		(4) 激減する労働力による介護人材確保のため介護人材確保担当部門もしくは担当者を設置してはどうか。
		(5) 6月議会で「介護職員の処遇改善を求める陳情書」と併せて11786筆もの署名が提出されたが市長の思いは。
10(8番) 山本 加奈子	1 投票環境の向上にむけて	(1) 高齢者や障がい者等の投票機会の創出と利便性確保のため、カミィリヤを期日前投票所に出来ないか。
		(2) 総務省の「投票所への移動支援及び移動期日前投票所の積極的な実施について」に対する市の見解は。
	2 地方創生移住支援について	(1) 地域の中小企業等への就業や起業をする人の移住・定住を支援する移住支援事業が出来ないか。
		(2) 若者のU I Jターンを促進するため奨学金返還支援、地方就職学生支援事業が必要ではないか。
11(17番) 西村 和子	1 日本一のまちについて	(1) まちづくり推進のために、市民が「筑紫野市は、これが日本一」と誇れるものを作っていくべきではないか。
12(5番) 赤司 祥一	1 本市におけるワンヘルスの推進について	(1) 福岡県内で約30の自治体へ広がっている『ワンヘルス推進宣言』を本市も表明してはどうか。
		(2) 人獣共通感染症を引き起こす動物の増加もある中、本市もワンヘルスをもっと具体的に推進すべきでは。
13(10番) 段下 季一郎	1 不登校支援について	(1) 小中一貫分校として学びの多様な学校を開校すべきと考えるが市の見解は。
	2 子育て支援について	(1) 「次世代の親づくり教育支援事業」を実施すべきと考えるが市の見解は。
	3 子どもの健診の充実について	(1) 3歳児健康診査票に「吃音」を明記すべきと考えるが市の見解は。
		(2) 5歳児健診を導入すべきと考えるが市の見解は。
(3) 思春期健診を導入すべきと考えるが市の見解は。		

令和6年第5回(12月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	質 問 項 目
14(18番) 辻本 美恵子	1 災害時避難所運営に必要な備品の整備について	(1) 各レベル別の避難所運営に必要な備品の整備、点検、見直しはどのように進められているのか。
		(2) 避難所運営の初期対応時、備品の取り扱いについて、どのように周知、訓練されているのか。
		(3) コミュニティ協議会や、自治公民館などの自主避難所で準備されている備品等の状況は把握しているか。
		(4) 災害時、市域全体での避難所運営を向上させるために、どのような取り組みをしているか。
	2 インクルーシブ防災の実現に向けて	(1) 災害時要配慮者への取り組みは、どのように進められているか。
		(2) 災害時要援護者の避難支援ガイドラインは、どのようにいかされているか。
		(3) 個別避難計画づくりを、どのように進めているか。
		(4) 平時の福祉の取り組みは、防災・減災対策を考慮した取り組みとなっているか。
		(5) 市内全域で、インクルーシブな考えでの防災・減災の取り組みとなるような体制が必要ではないか。
15(15番) 田中 允	1 子ども医療費の格差是正について	(1) 春日市と比較して筑紫野市の子ども医療費の助成金が少ないがその内容と筑紫野市の今後の取り組みを問う。
	2 JT跡地について	(1) 公共施設等の整備を求める署名活動が行われているが市の見解を問う。
		(2) マンションの土地建物の固定資産税は試算されたのか。
		(3) 新規入居者の市民税収入等試算されたのか。
		(4) JTの固定資産税や法人市民税等の納税額はいくらか。
		(5) マンションができれば小学校の建設費に70億から100億円必要とあるが市の見解を問う。
		(6) 小学校の新設だけに頼らず学校選択制等で対応できないか。
	3 介護職員の処遇改善について	(1) 特別養護老人ホームの介護職員の人材不足に市としてどの様に対処されるのか。
		(2) 介護職員の人材不足の実態を市はどのように理解しているのか。
		(3) 介護職員相談会が実施されたが、来場者等含め市はどの様に受け止めたか。
		(4) 介護職員処遇改善加算の拡充がなされているが、市は他業種との比較をどの様に考えているか。
		(5) 外国人介護士雇用について、海外及び国内でも外国人獲得競争が激化しているが市はどの様に受け止めているか。
		(6) 外国人介護士雇用について、近隣では福岡市が優位にあるが市の対応は。